

要安全確認計画記載建築物（通行障害既存耐震不適格建築物）の耐震診断結果

建築物の耐震改修の促進に関する法律第9条の規定に基づき公表する、要安全確認計画記載建築物（通行障害既存耐震不適格建築物）の耐震診断結果です。

※個々の建物の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価区分については、各建物の「耐震診断の方法の名称」ごとの「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」との対応を『附表耐震診断の方法及び安全性に関する事項』に示しています。（なお、いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。）  
 ※附表の8から15-2, 23, 24の耐震診断の方法を用いた場合の $I_s/I_{s0}$ については、 $I_{s0}$ を算出する際に用いる $U=1.0$ 、 $E_s=0.6$ (8, 9の耐震診断の方法では0.8)とした場合（Z, G, Rtが1の場合 $I_{s0}=0.6$ ）の $I_s/I_{s0}$ を示しています。

【1 国道1号】

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	豊橋中央ビル	豊橋市八町通一丁目18番地	事務所	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{s0}=0.93$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$			Z=1.0 G=1.0
2	青山建設本社ビル	豊橋市東新町245番地	事務所	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0}=1.08$ $C_{TU} \cdot S_D=0.65$			Z=1.0 G=1.0

【2 国道23号】

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	シャンテ・フローラ	豊橋市清須町字兵庫100番地	事務所、住宅	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	$I_s=0.39$ $q=1.58$			Z=1.0 G=1.0
2	TRYビルディング	豊橋市小向町字西小向39番地4、39番地1	住宅、事務所	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0}=0.64$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$			Z=1.0 G=1.0
3	豊橋中央ビル（再掲）	豊橋市八町通一丁目18番地	事務所	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{s0}=0.93$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$			Z=1.0 G=1.0

【3 国道259号】

番号	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	富田ビルディング	豊橋市魚町84番地	事務所	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0}=0.53$ $C_{TU} \cdot S_D=0.32$			Z=1.0 G=1.0
2	—	豊橋市老津町字今下21番地	住宅、作業場	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	$I_s=0.28$ $q=1.07$			Z=1.0, G=1.0 (植田町・老津町線283号)
3	—	豊橋市老津町字今下23番地	住宅、店舗	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	$I_s=0.20$ $q=0.80$			Z=1.0, G=1.0 (植田町・老津町線283号)
4	ユトリロ新川	豊橋市新川町74番地	共同住宅	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0}=0.62$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$			6～10階部分 Z=1.0 G=1.0
				15-2 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2009年版）	鉄骨が非充腹材の場合 $I_s/I_{s0}=0.61$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$			1～5階部分 Z=1.0 G=1.0
5	豊橋フロントビル	豊橋市神明町74番地、71番地1、72番地2、72番地1	事務所	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.31$			5～8階部分 Z=1.0 G=1.0
				14-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1997年版）	鉄骨が充腹材の場合 $I_s/I_{s0}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.28$			1～4階部分 Z=1.0 G=1.0
6	徳田家具店	豊橋市大国町108番地	店舗	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0}=0.64$ $C_{TU} \cdot S_D=0.39$			Z=1.0 G=1.0
7	—	豊橋市富本町13番地2	住宅	7 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」（1996年版、2011年版）	$I_s=0.13$ $q=0.53$			Z=1.0 G=1.0
8	市営富本RC住宅 A棟	豊橋市富本町字国隠20番地5	共同住宅、店舗	11 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1990年版）	$I_s/I_{s0}=0.40$ $C_T \cdot S_D=0.23$			Z=1.0 G=1.0 廃止に向け検討中
9	水口ビル	豊橋市南栄町字東山220番地2	事務所	12 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（2001年版、2017年版）	$I_s/I_{s0}=0.66$ $C_{TU} \cdot S_D=0.36$			Z=1.0 G=1.0
10	豊橋ビル2棟	豊橋市札木町43番地	通信施設、事務所	13 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」（1983年版）	$I_s/I_{s0}=1.11$			Z=1.0 G=1.0